

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2012年5月12日(土)
大阪市立大学, OCU48 セミナー

内容

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

- 1 序
- 2 微分方程式と射影空間内の曲線
- 3 射影直線内の曲線
- 4 平面曲線
- 5 双対曲線
- 6 空間曲線

\mathbf{P}^n : n 次元射影空間
係数体は \mathbf{R} または \mathbf{C}

射影微分幾何: \mathbf{P}^n 内の多様体の微分幾何

射影極小曲面: 射影微分幾何における曲面族

いわゆる可積分系

アフアイン球面を含む

中心アフアイン極小曲面との関係
(佐々木武先生のノート)

参考文献

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

- T. Sasaki, Projective Differential Geometry and Linear Homogeneous Differential Equations, Rokko Lectures in Mathematics vol 5, 1999, pp. 114
- T. Sasaki, Line congruence and transformation of projective surfaces, Kyushu J. Math. 60 (2006), 101-243

ともにダウンロード可

線形常微分方程式

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

まずは線形常微分方程式から考える
射影空間内の曲線と対応付けることができる
関数は実変数実数値または複素変数複素数値とする

$z(t)$: 未知関数

$p_1(t), \dots, p_n(t)$: 既知関数

線形常微分方程式:

$$z^{(n+1)} + p_1 z^{(n)} + \dots + p_n z' + p_{n+1} z = 0 \quad (1)$$

を考える

微分方程式から曲線

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$z_1, \dots, z_{n+1}: (1)$ の 1 次独立な解
 \mathbf{P}^n 内の曲線を

$$t \mapsto [z_1(t), \dots, z_{n+1}(t)]$$

により定めることができる

異なる 1 次独立な解は線形変換で写り合う
 \implies 対応する曲線は射影変換で写り合う

曲線から微分方程式

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

\mathbf{P}^n 内の曲線:

$$z(t) = [z_1(t), \dots, z_{n+1}(t)]$$

線形常微分方程式:

$$\begin{vmatrix} z^{(n+1)} & z^{(n)} & \cdots & z \\ z_1^{(n+1)} & z_1^{(n)} & \cdots & z_1 \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ z_{n+1}^{(n+1)} & z_{n+1}^{(n)} & \cdots & z_{n+1} \end{vmatrix} = 0$$

を考える

$\implies z_1, \dots, z_{n+1}$ は解

通常は z_1, \dots, z_n の 1 次独立性を仮定 (正則)

注意

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

- 各同次座標を関数倍しても曲線は同じ
⇒ 対応する微分方程式は一意ではない
- パラメータを変換しても曲線の像は変わらない
⇒ 次の変数変換を認める

$$(z, t) \mapsto (w = \lambda(t)z, s = f(t))$$

P^1 内の曲線

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

P^1 内の曲線を考える

運動ともいう (E. Cartan)

正則性を仮定する

2 階の線形常微分方程式が対応する

$$z'' + p_1 z' + p_2 z = 0 \quad (2)$$

変数変換を行い (2) を簡単な形にしていく

⇒ 曲線の不変量が現れる

変数変換

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

変数変換

$$w = \frac{1}{\lambda(t)} z$$

を考える
このとき

$$z = \lambda w$$

$$z' = \lambda' w + \lambda w'$$

$$z'' = \lambda'' w + 2\lambda' w' + \lambda w''$$

(2) に代入して整理すると

$$w'' + \left(\frac{2\lambda'}{\lambda} + p_1 \right) w' + \left(\frac{\lambda''}{\lambda} + p_1 \frac{\lambda'}{\lambda} + p_2 \right) w = 0 \quad (3)$$

微分方程式の簡単化

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

(3) の w' の係数が 0 となるように λ を選ぶ

$$\frac{2\lambda'}{\lambda} + p_1 = 0$$

このとき w の係数を Q とおくと

$$Q = p_2 - \frac{1}{4}p_1^2 - \frac{1}{2}p_1'$$

すなわち

$$w'' + Qw = 0 \tag{4}$$

Q は何か?

答え: Schwarz 微分

Schwarz 微分

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

Schwarz 微分:

$$\{g; t\} := \frac{1}{2} \left(\frac{g''}{g'} \right)' - \frac{1}{4} \left(\frac{g''}{g'} \right)^2 = \frac{1}{2} \frac{g'''}{g'} - \frac{3}{4} \left(\frac{g''}{g'} \right)^2$$

命題

(1) a, b, c, d : 定数, $ad - bc \neq 0$

$$\implies \left\{ \frac{ag + b}{cg + d}; t \right\} = \{g; t\}$$

(2) $\{g; t\} = 0 \implies \exists a, b, c, d$: 定数, $ad - bc \neq 0$ s.t.

$$g(t) = \frac{at + b}{ct + d}$$

(3) $\{g; t\} = \{g; s\} \left(\frac{ds}{dt} \right)^2 + \{s; t\}$ (接続公式)

\mathbf{P}^1 内の曲線の基本定理

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

命題

z_1, z_2 : (2) の 1 次独立な解

$$g := \frac{z_1}{z_2}$$

$$\implies Q = \{g; t\}$$

特に \mathbf{P}^1 内の曲線は Schwarz 微分によって射影変換を除いて定まる

証明

射影変換を除いて定まることを示すには上の命題の (2), (3) を用いればよい

命題の証明

Schwarz 微分の計算

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

証明

λ を上のようによく選んでおく
 $gw_2 = w_1$ を 2 回微分すると

$$g''w_2 + 2g'w_2' + gw_2'' = w_1''$$

(4) より

$$g''w_2 + 2g'w_2' + \frac{w_1}{w_2}(-Qw_2) = -Qw_1$$

よって

$$\frac{g''}{g'} = -\frac{2w_2'}{w_2}$$

更に計算すると g の Schwarz 微分は Q となる

P^2 内の曲線

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

P^2 内の曲線を考える

正則性を仮定する

3 階の線形常微分方程式が対応する

$$z''' + p_1 z'' + p_2 z' + p_3 z = 0 \quad (5)$$

変数変換

$$w = \frac{1}{\lambda(t)} z$$

を考える

このとき

$$z = \lambda w$$

$$z' = \lambda' w + \lambda w'$$

$$z'' = \lambda'' w + 2\lambda' w' + \lambda w''$$

$$z''' = \lambda''' w + 3\lambda'' w' + 3\lambda' w'' + \lambda w'''$$

微分方程式の簡単化

第1段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

(5) に代入して整理すると

$$w'''' + \left(\frac{3\lambda'}{\lambda} + p_1 \right) w'' + \left(\frac{3\lambda''}{\lambda} + p_1 \frac{2\lambda'}{\lambda} + p_2 \right) w' + \left(\frac{\lambda'''}{\lambda} + p_1 \frac{\lambda''}{\lambda} + p_2 \frac{\lambda'}{\lambda} + p_3 \right) w = 0$$

w'' の係数が 0 となるように λ を選ぶ

$$\frac{3\lambda'}{\lambda} + p_1 = 0$$

簡単化された微分方程式

第1段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

命題

$$w''' + q_2 w' + q_3 w = 0 \quad (6)$$

ただし

$$\begin{cases} q_2 = p_2 - p_1' - \frac{1}{3}p_1^2 \\ q_3 = p_3 - \frac{1}{3}p_1'' + \frac{2}{27}p_1^3 - \frac{1}{3}p_1 p_2 \end{cases}$$

証明

$$\frac{\lambda'}{\lambda} = -\frac{1}{3}p_1, \quad \frac{\lambda''}{\lambda} = -\frac{1}{3}p_1' + \frac{1}{9}p_1^2, \quad \frac{\lambda'''}{\lambda} = -\frac{1}{3}p_1'' + \frac{1}{3}p_1 p_1' - \frac{1}{27}p_1^3$$

を用いればよい

パラメータ込みの変数変換

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

変数変換

$$u = \frac{1}{\mu(t)} w, \quad s = f(t)$$

を考える
このとき

$$w = \mu u$$

$$w' = \mu' u + \mu f' \dot{u}$$

$$w'' = \mu'' u + (2\mu' f' + \mu f'') \dot{u} + \mu (f')^2 \ddot{u}$$

$$w''' = \mu''' u + (3\mu'' f' + 3\mu' f'' + \mu f''') \dot{u} + 3(\mu' (f')^2 + \mu f' f'') \ddot{u} + \mu (f')^3 \ddot{\ddot{u}}$$

微分方程式の簡単化

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

(6) に代入して整理する

\ddot{u} の係数が0 となるようにしておく

$$\mu' f' + \mu f'' = 0$$

すなわち

$$\mu = \frac{c}{f'} \quad (c \neq 0)$$

このとき

$$(f')^2 \ddot{u} + (q_2 - 4\{f; t\}) \dot{u} + \left\{ \frac{q_3}{f'} - q_2 \frac{f''}{(f')^2} - \frac{f''''}{(f')^2} + \frac{6f'' f'''}{(f')^3} - \frac{6(f'')^3}{(f')^4} \right\} u = 0$$

\dot{u} の係数が0 となるように f を選ぶ

$$\{f; t\} = \frac{1}{4} q_2$$

簡単化された微分方程式

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

命題

$$\ddot{u} + ru = 0 \quad (\text{Laguerre-Forsyth 標準形})$$

ただし

$$r = \left(q_3 - \frac{1}{2}q_2' \right) \frac{1}{(f')^3}$$

$$rds^3 = \left(q_3 - \frac{1}{2}q_2' \right) dt^3 \text{ は変数変換}$$

$$(u, s) \mapsto \left(\frac{1}{\nu(s)}u, g(s) \right) \quad \left(\nu = \frac{\tilde{c}}{\dot{g}}, \tilde{c} \neq 0, \{g; s\} = 0 \right)$$

で不変

⇒ 曲線の不変量 (Laguerre-Forsyth 3次微分)

例

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$rds^3 = 0$ とする
このとき

1 次独立な解は

対応する曲線は 2 次曲線

$$\ddot{u} = 0$$

$$1, s, s^2$$

P^2 内の曲線の基本定理

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$rds^3 \neq 0$ とする

微分方程式

$$\frac{dz^3}{dt^3} + 2k \frac{dz}{dt} + hz = 0$$

に対応する Laguerre-Forsyth 3 次微分が dt^3 であるとする

t : 射影弧長径数

このとき

$$z''' + 2kz' + (k' + 1)z = 0 \quad (7)$$

k : 射影曲率

命題

射影弧長により径数付けられた P^2 内の曲線は射影曲率によって射影変換を除いて一意的に定まる

定曲率曲線

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

k が定数のとき (7) は

$$z''' + 2kz' + z = 0$$

特性方程式

$$x^3 + 2kx + 1 = 0$$

を考える

次の3つの場合に分ければよい

(1) 相異なる3つの実数解をもつ $\left(k < -\frac{3}{2\sqrt[3]{4}}\right)$

(2) 重解をもつ $\left(k = -\frac{3}{2\sqrt[3]{4}}\right)$

(3) 1つの実数解をもつ $\left(k > -\frac{3}{2\sqrt[3]{4}}\right)$

定曲率曲線

相異なる3つの実数解をもつ場合

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

非同次座標で考える

$$\gamma(t) = (e^{\alpha t}, e^{\beta t}, 1)$$

と表すことができる

ただし

$$\alpha, \beta \in \mathbf{R}, \alpha, \beta \neq 0, \beta \neq \frac{1}{2}\alpha, \pm\alpha, 2\alpha$$

$X = e^{\alpha t}$, $Y = e^{\beta t}$ とおくと

$$Y = X^m$$

ただし

$$m \neq 0, \frac{1}{2}, \pm 1, 2$$

定曲率曲線

その他の場合

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

重解をもつ場合:

$$\gamma(t) = (t, e^t, 1)$$

と表すことができる

1つの実数解をもつ場合:

$$\gamma(t) = (e^{\alpha t} \cos \beta t, e^{\alpha t} \sin \beta t, 1)$$

と表すことができる

ただし

$$\alpha, \beta \neq 0$$

これは対数螺旋

Plücker 写像

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$V = \mathbf{C}^n$ または \mathbf{R}^n

$G(k, V)$: V の k 次元部分空間全体

$k(n - k)$ 次元多様体

Grassmann 多様体

$\mathbf{P}(\wedge^k V)$: V の k 次外積代数の 1 次元部分空間全体

$\binom{n}{k} - 1$ 次元射影空間

Plücker 写像:

$$p : G(k, V) \rightarrow \mathbf{P}(\wedge^k V)$$

$$(p(W) = \wedge^k W \quad (W \in G(k, V)))$$

埋め込みをあたえる

Plücker 座標

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$\{e_1, \dots, e_n\}$: V の基底

$v_1, \dots, v_k \in V$: 1 次独立

$j = 1, \dots, k$

x_{1j}, \dots, x_{nj} : $\{e_1, \dots, e_n\}$ に関する v_j の成分

$\{e_{i_1} \wedge \dots \wedge e_{i_k}\}_{i_1 < \dots < i_k}$: $\wedge^k V$ の標準基底

$\implies \{e_{i_1} \wedge \dots \wedge e_{i_k}\}_{i_1 < \dots < i_k}$ に関する $v_1 \wedge \dots \wedge v_k$ の成分は

$$\begin{vmatrix} x_{i_1 1} & \cdots & x_{i_1 k} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ x_{i_k 1} & \cdots & x_{i_k k} \end{vmatrix} \quad (i_1 < \dots < i_k)$$

(Plücker 座標)

双対曲線の定義

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$V = \mathbf{C}^3$ または \mathbf{R}^3

$\gamma: I \rightarrow \mathbf{P}^2$: 平面曲線

Plücker 写像を用いると一般に

$\gamma \wedge \gamma': \mathbf{P}(\wedge^2 V) = \mathbf{P}^2$ 内の曲線

(双対曲線)

以下では $\gamma \wedge \gamma'$ が \mathbf{P}^2 内の曲線を定めると仮定する

不変量の計算

準備

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$\gamma : I \rightarrow \mathbf{P}^2$: 平面曲線
対応する微分方程式を

$$\gamma''' + p_1 \gamma'' + p_2 \gamma' + p_3 \gamma = 0 \quad (8)$$

とする

$\xi = \gamma \wedge \gamma'$ とおく

このとき

$$\xi' = \gamma \wedge \gamma''$$

$$\xi'' = \gamma' \wedge \gamma'' + \gamma \wedge \gamma'''$$

$$= \gamma' \wedge \gamma'' + \gamma \wedge (-p_1 \gamma'' - p_2 \gamma' - p_3 \gamma)$$

$$= \gamma' \wedge \gamma'' - p_1 \xi' - p_2 \xi$$

$$\xi''' = \gamma' \wedge \gamma''' - (p_1 \xi' + p_2 \xi)'$$

不変量の計算

双対曲線に対する微分方程式

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

一方 (8) より

$$\gamma' \wedge \gamma''' + p_1 \gamma' \wedge \gamma'' + p_3 \gamma' \wedge \gamma = 0$$

よって

$$\xi''' + (p_1 \xi' + p_2 \xi)' + p_1 (\xi'' + p_1 \xi' + p_2 \xi) - p_3 \xi = 0$$

したがって

$$\xi''' + 2p_1 \xi'' + (p_1' + p_1^2 + p_2) \xi' + (p_2' + p_1 p_2 - p_3) \xi = 0$$

不変量の計算

結果

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

γ に対応する簡単化された微分方程式:

$$w''' + q_2 w' + q_3 w = 0$$

ただし

$$\begin{cases} q_2 = p_2 - p_1' - \frac{1}{3}p_1^2 \\ q_3 = p_3 - \frac{1}{3}p_1'' + \frac{2}{27}p_1^3 - \frac{1}{3}p_1 p_2 \end{cases}$$

ξ に対する量は * を付けて表すことにする

命題

$$q_2^* = q_2, \quad q_3^* = -q_3 + q_2'$$

特に

$$q_3^* - \frac{1}{2}(q_2^*)' = -\left(q_3 - \frac{1}{2}q_2'\right)$$

自己双対性

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

自己双対: 双対曲線が元の曲線と射影同値

命題

\mathbf{P}^2 内の曲線が自己双対となるのは 2 次曲線のときに限る

証明

上の命題より

$\gamma: I \rightarrow \mathbf{P}^2$: 自己双対

\Leftrightarrow

Laguerre-Forsyth 3 次微分は 0

\Leftrightarrow

γ : 2 次曲線

\mathbf{P}^3 内の曲線

第 1 段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

\mathbf{P}^3 内の曲線を考える

正則性を仮定する

4 階の線形常微分方程式が対応する

$$z'''' + p_1 z'''' + p_2 z'' + p_3 z' + p_4 z = 0$$

z を関数倍すると

$$w'''' + q_2 w'' + q_3 w' + q_4 w = 0 \quad (9)$$

とすることができる

パラメータ込みの変数変換

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

変数変換

$$u = \frac{1}{\mu(t)} w, \quad s = f(t)$$

を考える
このとき

$$w = \mu u$$

$$w' = \mu' u + \mu f' \dot{u}$$

⋮

$$\begin{aligned} w'''' &= \mu'''' u + (4\mu'''' f' + 6\mu''' f'' + 4\mu' f'''' + \mu f''''') \dot{u} \\ &\quad + (6\mu'' (f')^2 + 12\mu' f' f'' + 3\mu (f'')^2 + 4\mu f' f''') \ddot{u} \\ &\quad + (4\mu' (f')^3 + 6\mu (f')^2 f'') \ddot{\ddot{u}} + \mu (f')^4 \ddot{\ddot{\ddot{u}}} \end{aligned}$$

微分方程式の簡単化

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

(9) に代入して整理する

\ddot{u} の係数が0となるようにしておく

$$2\mu'f' + 3\mu f'' = 0$$

すなわち

$$\mu = c(f')^{-\frac{3}{2}} \quad (c \neq 0)$$

このとき

$$(f')^2 \ddot{u} + (q_2 - 10\{f; t\})\ddot{u} + \dots = 0$$

\ddot{u} の係数が0となるように f を選ぶ

$$\{f; t\} = \frac{1}{10}q_2$$

簡単化された微分方程式

第2段階

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

このとき

$$\ddot{u} + r_3 \dot{u} + r_4 u = 0$$

と表される

例えば

$$r_3 = (q_3 - q'_2) \frac{1}{(f')^3}$$

$r_3 ds^3 = (q_3 - q'_2) dt^3$ は変数変換

$$(u, s) \mapsto \left(\frac{1}{\nu(s)} u, g(s) \right) \quad \left(\nu = \tilde{c}(\dot{g})^{-\frac{3}{2}}, \tilde{c} \neq 0, \{g; s\} = 0 \right)$$

で不変

\implies 曲線の1つの不変量

もう1つの不変量

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

上の変数変換によって

$$r_4 - \frac{1}{2} \dot{r}_3$$

に相当する量は

$$\frac{r_4}{\dot{g}^4} - \frac{1}{2} \frac{\dot{r}_3}{(\dot{g})^3}$$

に変化する

$$\Rightarrow \left(r_4 - \frac{1}{2} \dot{r}_3 \right) ds^4 \text{ も曲線の不変量}$$

\mathbf{P}^3 に対する Plücker 写像

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

$V = \mathbf{C}^4$ または \mathbf{R}^4

$\gamma: I \rightarrow \mathbf{P}^3$: 空間曲線

Plücker 写像を用いると一般に

$$\gamma \wedge \gamma': \mathbf{P}(\wedge^2 V) = \mathbf{P}^5 \text{ 内の曲線}$$

以下では $\gamma \wedge \gamma'$ が \mathbf{P}^5 内の曲線を定めると仮定する
対応する微分方程式を

$$\ddot{\gamma} + r_3 \dot{\gamma} + r_4 \gamma = 0$$

とする

$\xi = \gamma \wedge \dot{\gamma}$ とおく

r_3 の特徴付け

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

命題

$$\xi^{(5)} + r_3 \ddot{\xi} - 2(2r_4 - \dot{r}_3)\dot{\xi} - (2\dot{r}_4 - \ddot{r}_3)\xi = 2r_3 \dot{\gamma} \wedge \ddot{\gamma}$$

左辺を L とおくと

$$r_3 \dot{L} - \dot{r}_3 L - r_3^2 (\ddot{\xi} + r_3 \xi) = 0$$

定理

$$r_3 = 0$$



ξ : ある超平面に含まれる

曲線の射影微分幾何

藤岡敦

内容

序

微分方程式と射影空間内の曲線

射影直線内の曲線

平面曲線

双対曲線

空間曲線

ご清聴ありがとうございました